

第三章 13) ルイス・アントニオ・ジュンケイラ耕地 (ジロンダ駅)

*日野千次郎、1912年5月、巖島丸、福岡県朝倉郡志波村出身、ジュンケイラ耕地配耕、後年プロミッソ市郊外カスカジンニャ移転。(「ブラジル日系紳士録」479ページ)

*山室弘造、1912年、神奈川丸(第4回移民)(「平野25周年史」)

*源義政、1929年12月、博多丸、石川県鳳至郡柳田村出身、ジュンケイラ耕地後モーロ・アグードにて綿作、薄荷栽培等、後年サント・アマール郊外移転。(「ブラジル日系紳士録」)

14) サン・ルイス耕地 (サン・マルチーニョ方面)

*佐賀県人配耕と金子保三郎通訳(第3回移民1912年4月28日着伯、巖島丸)

*渡辺正久、1914年 福島県 妻ニシキ、7人家族。

*渡辺雪男、1913年 同上 妻ミツ、3人家族

*高橋運作、1914年 同上 妻ヨシノ、6人家族

*国分平吉、1914年 同上 妻ルイ、2人家族

*宮原桑男、1919年 長野県 妻ハナ、9人家族

*佐藤直、1927年 千葉県 妻ミキ、4人家族

*宮坂弘蔵、1929年 長野県 妻ハルコ、7人家族

*高倉信義、1928年 熊本県 5人家族

*盆田八郎、1928年 同上 妻ウメ、11人家族

*藤本勝喜、1928年 同上 妻ハツミ、5人家族

*伊藤真蔵、1929年 宮城県 妻さき、5人家族

*薄井善吉、1929年 栃木県 妻ヨシ、4人家族

*沖本福次郎、1927年 広島県 8人家族

*沖野杉松、1927年 同上 10人家族

*高橋三省、1915年 同上 妻ちいの、6人家族
(「在伯日本移植民25周年記念鑑」一香山六郎著 1934年発行)

*宮本邦弘、1934年大分県速見郡、布哇丸、サンタ・テレザで6ヶ月、サン・ルイスで就労すること1年、乾燥場監督2年。(「ブラジル同胞活躍の姿」)

*野沢貞雄、1934年、ブエノス・アイレス丸、山梨県八代郡祝村出身、コーヒー園就労、1941年モジ市に移転種鶏場、孵化場開設、内川種鶏場(「ブラジル日系紳士録」372ページ)